

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月21日	
岐阜県知事 殿	
提出者	
住 所 岐阜県各務原市松本町2丁目466番地	
氏 名 大東乳業株式会社	
代表取締役 佐橋 正張	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 058-371-3151	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大東乳業株式会社
事業場の所在地	岐阜県各務原市松本町2丁目466番地
計画期間	令和5年4月～令和6年3月(1年間)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	缶飲料受託製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 1,037,609万円 (R04.11～R05.10)
③ 従業員数	47名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照



## (第 2 面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙 2 参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 ( 5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 参照	
	排 出 量		
	(これまでに実施した取組)  生産工程での不良包装の発生を少なくする。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 3 参照	
	排 出 量		
	(今後実施する予定の取組)  包装機器の設定、確認をチェックし包装の不良発生を抑える。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  業者区分を行いダンボールと紙付ビニールの分別が明確となった。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  —

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（                      5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	163.05 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	146.7 t	
	(今後実施する予定の取組)		
②計画	汚泥脱水機設備を更新しました。 流入量を調整しながら、汚泥脱水処理回数を減少させました		
	(今後実施する予定の取組)		
	汚泥脱水機設備を更新しましたので、今後も、流入量及び、脱水量の調整を取りながら、既設と新設設備を有効に活用し汚泥の状態を良好に保つようにする。		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	†	†
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（                      5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別参4 照紙	
	全 処 理 委 託 量	別参4 照紙	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	†	†
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別参4 照紙	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	†	†
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	†	†
	(これまでに実施した取組) 別参4 照紙		

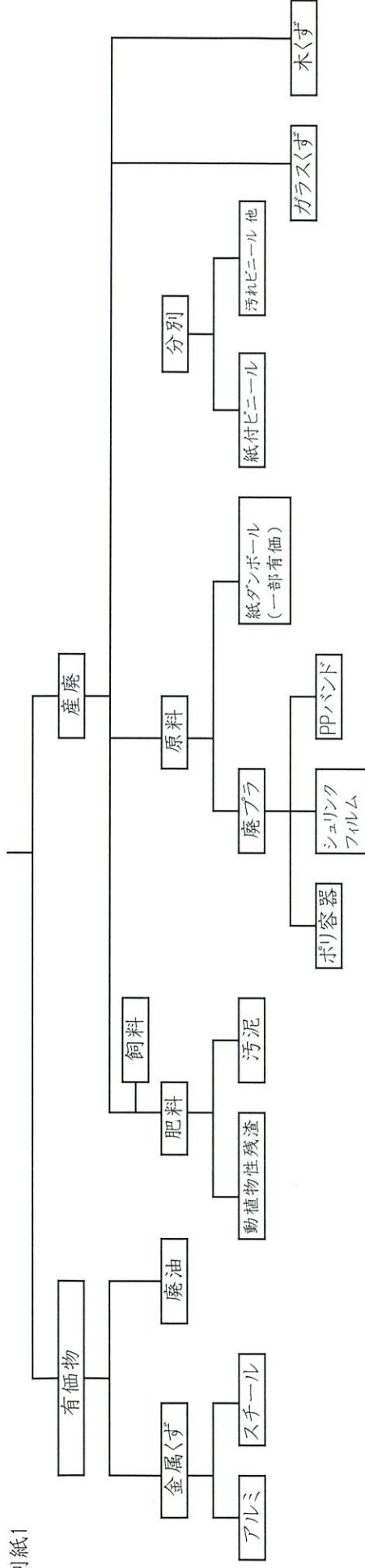
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4参照	
	全処理委託量	別参4照紙	
	優良認定処理業者への 処理委託量		↑
	再生利用業者への 処理委託量	別参4照紙	1
	認定熱回収業者への 処理委託量	↑	↑
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	↑	↑
	(今後実施する予定の取組) 別参4照紙		
※事務処理欄			



備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。  
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。  
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。  
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 別紙1



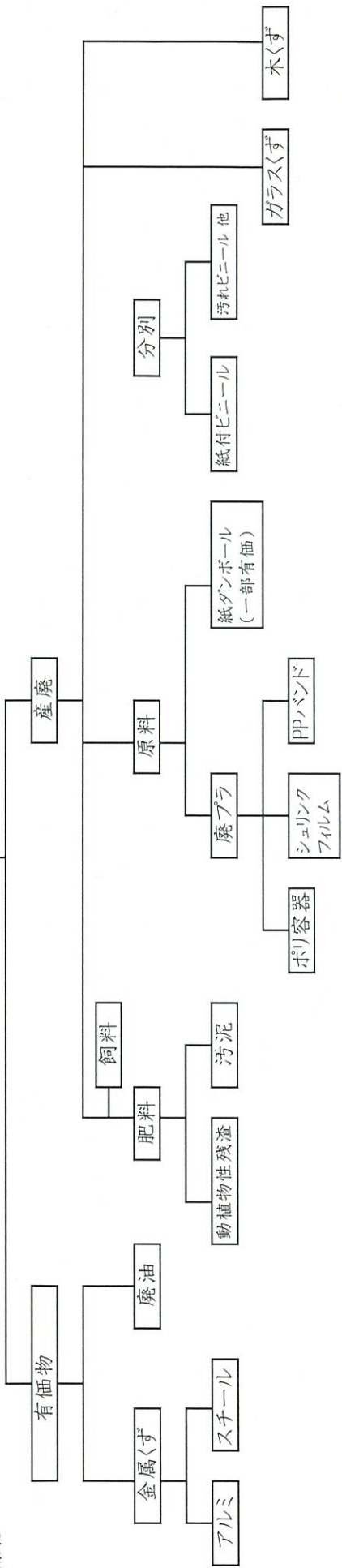
	合 計	金属くず	廃 油	残 渣	汚 泥	ポリ容器	シュリンクフィルム	PPバンド	紙ダンボール	紙付ビニール	汚れビニール	ガラスくず	木くず
	852.00	ジュース缶プレス	タンク保管	業者引取り	自社中間	業者引取り	同左	同左	業者引取り	業者引取り	業者引取り	業者引取り	業者引取り
	↓	スクラップ	↓	↓	(脱水処理)	↓			↓	↓	↓	↓	↓
	↓	↓	業者引取り	飼料 推積	↓	中間 (圧縮)			中間(圧縮)	中間(圧縮)	分別	粉砕	粉砕
	↓	業者引取	↓	↓	業者引取り	↓			↓	↓	↓	↓	↓
	処理工程	(再プレス)	油水分離	肥料原料	↓	再生(原料)			再生	ビニールと紙	圧縮	再生	再生
		↓	↓	↓	混合堆肥				分離	分離	↓		
		再生	再生	販売	↓					↓	リサイクル		
					販売					再生			





産業廃棄物

別紙3



	合 計	金属くず	廃 油	残 渣	汚 泥	廃プラ	ポリ容器	シュリンクフィルム	PPバンド	紙ダンボール	汚れビニール他	ガラスくず	木くず
R2.実績	1,095.4	97.9	0.5	570.8	347.9	137.8	11.7	17.1	5.9	42.3	1.7	2.5	0.0
R3.目標	984.2	88.1	0.5	513.0	313.0	124.0	10.0	15.0	5.0	38.0	1.5	2.2	0.0
R3.実績	1,193.7	84.5	0.5	720.3	326.3	115.0	9.8	15.6	6.3	42.9	0.0	0.0	0.0
R4.目標	1,074.6	76.1	0.5	648.3	293.7	103.5	8.8	14.1	5.7	38.6	0.0	0.0	0.0
R4.実績	952.3	89.8	0.7	583.7	228.0	105.3	12.6	14.4	6.9	40.3	0.0	0.8	0.0
R5.目標	857.1	80.8	0.7	525.3	205.2	94.8	11.3	12.9	6.2	36.3	0.0	0.7	0.0
R5.実績	852.0	95.9	0.7	542.4	163.0	114.7	12.1	12.6	6.5	39.6	0.0	0.0	0.0
R6.目標	767.6	86.3	0.7	488.2	146.7	103.2	10.9	11.3	5.9	35.6	0.0	0.7	0.0

単位：t

別紙4

産業廃棄物の種類	令和5年度実績	処理委託量	これまでに実施した取組
動植物性残渣	542.4 t	542.4 t	業者の引取りタイミングを遅らせ水分を減らす。
廃プラ	114.7 t	114.7 t	選別の精度を上げて、廃棄物量を減少させる。
廃油	0.7 t	0.7 t	各設備の機械油の交換時期のタイミングをずらす。
ガラスくず	0.0 t	0.0 t	今後も出来るだけ、容器形態を変更してもらおうようにして減少させる。
産業廃棄物の種類	令和6年度目標	処理委託量	今後実施する予定の取組
動植物性残渣	488.2 t	488.2 t	より、水分を削減した状態での引取りを目指す。
廃プラ	103.2 t	103.2 t	利用頻度を上げられるよう努力し廃棄量の減少を目指す。
廃油	0.7 t	0.7 t	機械油の交換時期を、さらに、ずらせるように目指す。
ガラスくず	0.7 t	0.7 t	今後、ガラス容器からポリ容器への変更を依頼し、減少を目指す。